



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 積水工機製作所
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuikouki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤 征一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 湯川 浩次 (TEL) 072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,609	84.2	△128	—	△128	—	△694	—
23年3月期第1四半期	873	△16.5	△178	—	△169	—	△165	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △693百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △167百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△74.83	—
23年3月期第1四半期	△17.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,112	2,549	35.8
23年3月期	7,791	3,242	41.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,549百万円 23年3月期 3,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	40.3	△140	—	△140	—	△910	—	△98.09
通期	6,200	11.8	△80	—	△90	—	△870	—	△93.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	9,350,000株	23年3月期	9,350,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	72,677株	23年3月期	72,677株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	9,277,323株	23年3月期1Q	9,277,951株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	9
(1) 受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、東日本大震災の影響で、主要顧客である自動車メーカー各社の部品供給網が打撃を受け、新車開発計画にも陰りが見られましたが、生産体制の復旧に伴い、新車開発需要は回復傾向にあります。当第1四半期連結累計期間の受注は、販売価格は底這い状態にあるものの、前年同期比8.9%増加しました。産業機器部門の受注は、高機能樹脂を中心とする押出機・金型関連の設備投資は徐々に増加しており、販売価格の低下はあるものの、前年同期比31.5%増加しました。

全社の売上高は前期後半の受注高の増加により、前年同期比84.2%増加し、1,609百万円となりました。内訳は、金型部門が自動車関連を中心に前年同期比54.8%増加し、産業機器部門は押出機関連設備を中心に前年同期比265.7%増加しました。営業損益は、販売価格の低下による利益率の低下により、128百万円の損失（前年同期は営業損失178百万円）となりました。経常損益につきましても128百万円の損失（前年同期は経常損失169百万円）となりました。四半期純損益は結城工場の操業停止に伴う固定資産の減損損失460百万円を特別損失を計上したこと及び法人税等調整額を103百万円計上したことにより694百万円の損失（前年同期は純損失165百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ679百万円減少し、7,112百万円となりました。主な内訳は、流動資産が現金及び預金が減少したことなどにより157百万円減少したこと及び有形固定資産が結城工場の操業停止による減損損失などで510百万円減少したことなどであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。主な内訳は、流動負債が31百万円増加し、固定負債は借入金の返済等で17百万円減少したことなどであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ693百万円減少し、2,549百万円となりました。主な内訳は、四半期純損失の計上により利益剰余金が694百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は35.8%（前連結会計年度末41.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社の関連する自動車メーカー各社を始めとする主要顧客の設備投資需要は徐々に増加傾向にありますが、自動車用金型業界は引き続き供給過剰状態にあり、当社は本年9月末をもって結城工場の操業を停止し、経営資源を本社工場に集約することといたしました。これに伴い、固定資産の減損損失及び退職特別加算金等が特別損失に計上されます。

従いまして、平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下方修正させていただきます。詳細は、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,841	608,654
受取手形及び売掛金	2,323,682	2,455,798
仕掛品	649,220	682,864
原材料及び貯蔵品	34,306	34,049
繰延税金資産	94,449	36,721
その他	64,449	46,431
貸倒引当金	△5,500	△5,500
流動資産合計	4,016,449	3,859,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	864,563	667,535
機械装置及び運搬具(純額)	1,023,734	813,075
土地	1,631,098	1,529,436
建設仮勘定	42,148	48,493
その他(純額)	27,464	20,345
有形固定資産合計	3,589,009	3,078,886
無形固定資産		
ソフトウェア	57,890	49,504
その他	5,923	4,764
無形固定資産合計	63,814	54,268
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,629	30
その他	130,004	141,312
貸倒引当金	△21,214	△21,214
投資その他の資産合計	122,419	120,127
固定資産合計	3,775,243	3,253,283
資産合計	7,791,693	7,112,302
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,127,571	2,044,880
短期借入金	1,488,360	1,545,029
未払法人税等	11,292	4,207
賞与引当金	81,500	109,350
災害損失引当金	14,000	12,608
その他	336,957	375,343
流動負債合計	4,059,681	4,091,419

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
固定負債		
長期借入金	300,000	255,000
長期未払金	45,335	44,210
リース債務	137,490	132,816
繰延税金負債	—	32,802
退職給付引当金	6,542	6,782
固定負債合計	489,368	471,611
負債合計	4,549,049	4,563,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	811,985	117,790
自己株式	△17,223	△17,223
株主資本合計	3,238,913	2,544,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,730	4,552
その他の包括利益累計額合計	3,730	4,552
純資産合計	3,242,643	2,549,271
負債純資産合計	7,791,693	7,112,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	873,550	1,609,039
売上原価	893,020	1,577,054
売上総利益又は売上総損失(△)	△19,470	31,985
販売費及び一般管理費	159,258	160,518
営業損失(△)	△178,728	△128,533
営業外収益		
受取利息	381	33
受取配当金	294	711
仕入割引	621	868
助成金収入	13,418	3,137
その他	550	863
営業外収益合計	15,266	5,614
営業外費用		
支払利息	6,245	4,763
売上割引	61	52
その他	87	397
営業外費用合計	6,395	5,213
経常損失(△)	△169,857	△128,132
特別損失		
減損損失	—	460,808
投資有価証券評価損	12,343	—
特別損失合計	12,343	460,808
税金等調整前四半期純損失(△)	△182,201	△588,941
法人税、住民税及び事業税	2,400	1,688
法人税等調整額	△19,210	103,566
法人税等合計	△16,809	105,254
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,391	△694,195
四半期純損失(△)	△165,391	△694,195

四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,391	△694,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,170	822
その他の包括利益	△2,170	822
四半期包括利益	△167,562	△693,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167,562	△693,372

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	751,796	121,753	873,550	—	873,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	751,796	121,753	873,550	—	873,550
セグメント損失(△)	△138,373	△40,355	△178,728	—	△178,728

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,163,834	445,205	1,609,039	—	1,609,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,163,834	445,205	1,609,039	—	1,609,039
セグメント損失(△)	△95,279	△33,253	△128,533	—	△128,533

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

平成23年7月18日開催の取締役会において、金型セグメントにおいて、結城工場(茨城県結城市)の操業を停止し、経営資源を本社工場(大阪府枚方市)に集約する決議をしています。

これに伴い、当第1四半期連結累計期間において結城工場の固定資産の減損損失460,808千円を計上しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

特別転進支援制度の実施

当社は、平成23年7月18日開催の取締役会において、結城工場の操業停止に伴い、下記の通り特別転進支援制度を実施することを決議しました。

(1) 特別転進支援制度の募集の概要

- | | |
|---------|--|
| ① 応募対象者 | 結城工場に勤務する従業員53名(連結子会社を含む) |
| ② 応募人員 | 特に定めず |
| ③ 応募期間 | 平成23年8月30日まで |
| ④ 退職日 | 平成23年9月30日 |
| ⑤ 優遇措置 | 所定の退職金に加え、特別加算金を支給する。
希望者(当社従業員)には再就職支援会社の活用による再就職の支援を行う。 |

(2) 特別転進支援制度の実施による損失の見込額

本制度の実施に伴い、退職特別加算金等が発生し特別損失として計上する予定ですが、当四半期報告書提出日現在では退職者が確定していないため、今後の財政状態及び経営成績に与える影響は未確定です。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	762,810	8.9	1,067,120	10.5
産業機器	465,100	31.5	1,151,430	38.1
合計	1,227,911	16.5	2,218,550	23.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。